

# 2017年度リサイクル援助事業

## 報告書

パキスタン・イスラム共和国  
赤新月社



救急車の引き渡しと研修を終えた参加者たち



一般社団法人 日本外交協会

海外援助事業

E-mail : recycle@spjd.or.jp

TEL 03-5401-2121/FAX 03-5401-2124

ご報告：パキスタン・イスラム共和国（赤新月社） 救急車寄贈事業

平成29年度在パキスタン日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、パキスタン・イスラム共和国赤新月社へ日本の自治体より無償譲渡いただいた救急車4台を寄贈しました。

現地到着後2018年8月、日本の自治体消防本部のご協力で安全な運用に関する技術指導を行いましたので、ご報告いたします。

<寄贈概要>

アジア パキスタン・イスラム共和国



イスラマバード



Google Map より

寄贈先：パキスタン・イスラム共和国 赤新月社

寄贈物品：救急車 4台

	車種	車台番号	ご供出元
1	救急車	VCH220001215	比企広域市町村圏組合
2	救急車	VCH280001471	吾妻広域町村圏振興整備組合
3	救急車	VCH38-0002425	宗像地区事務組合
4	救急車	TRH226-0002944	仙台市

寄贈資金：平成29年度在パキスタン日本国大使館ODA  
「草の根・人間の安全保障無償資金協力」による支援

輸出時期：2018年7月（8月到着）

研修：2018年8月27日～9月1日（6日間、移動日を含む）

指導員：宗像地区事務組合 宗像地区消防本部  
救急課救命係主任 荒牧孝之 氏

参加者：パキスタン・イスラム共和国 赤新月社 15名

調整員兼通訳：（一社）日本外交協会 事務局長 寺田恭子  
海外援助事業 課長 林田雅明

ご報告：パキスタン・イスラム共和国（赤新月社） 救急車寄贈事業

平成29年度在パキスタン日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、パキスタン・イスラム共和国赤新月社へ日本の自治体より無償譲渡いただいた救急車4台を寄贈しました。

現地到着後2018年8月、日本の自治体消防本部のご協力で安全な運用に関する技術指導を行いましたので、ご報告いたします。

<現地写真>

1	<p>&lt;研修&gt;</p> <p>救急車の取扱い方法を説明する宗像地区事務組合 宗像地区消防本部 救急課救命係主任 荒牧孝之氏(右)と(一社)日本外交協会 事務局長 寺田恭子(左端)</p> <p>初めて扱う日本製の救急車に高い関心が寄せられた。</p>	
2	<p>&lt;研修&gt;</p> <p>患者の搬送要領を確認する参加者へ助言を行う荒牧氏(右端)</p> <p>ストレッチャーの各部で手を挟んだり、足をぶついたりして隊員自身がケガをすることがないように、安全管理の重要性を説明した。</p>	

<p>3</p>	<p>&lt;研修&gt;</p> <p>交通事故を想定した外傷患者への応急処置を説明する荒牧氏(右奥)</p> <p>実践的な模擬訓練を実施した。</p>	
<p>4</p>	<p>&lt;修了式&gt;</p> <p>研修の修了式</p> <p>指導員の荒牧氏とパキスタン・イスラム共和国赤新月社のアブドゥル・ハディ代表(中央左)から、参加者一人一人へ修了証書を手渡した。</p>	
<p>5</p>	<p>&lt;修了式&gt;</p> <p>研修を終えた関係者</p> <p>研修参加者、赤十字社関係者、中央に荒牧氏、中央左に寺田事務局長、右端に(一社)日本外交協会海外援助事業 林田雅明 課長。</p> <p>背後に整列された救急車は左から宗像地区事務組合、比企広域市町村圏組合、吾妻広域町村圏振興整備組合、仙台市供出。</p>	